コントロールコミュニケータ
KFC-VS1
コミュニケータ

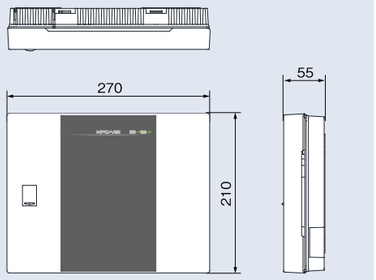
仕様

コントロールコミュニケータ(KFC-VS1)

基本機能			
監視ブロック数	5ブロック	本体センサ接続台数	40ch(接点入力8ch/多重入力32ch)
フロア共用部ブロック数	1ブロック(1段目共用部)	カード登録枚数	1,000枚

機器仕様			
電源電圧	AC100V±10V　50/60Hz	接点出力	4 点(a接点　無電圧接点　DC30V　1A) 代表開始出力、代表警報出力、共用部開始出力、制御出力、 代表確認通知出力より選択可
消費電力	76VA(最大)	音声入力	1点(ライン入力)
外部電池入力	DC11.5～15V	音声出力	1 点(スピーカ出力/ライン出力をスイッチで切替) スピーカ出力:8Ω/0.2W　負荷インピーダンス:4Ω～32Ω
外部供給電源	DC13V　0.7A(最大)		
内蔵電池	ニッケル水素電池(12V、1200mAh)		
停電補償時間	15分	電源ランプ	発光ダイオード(緑色)
周囲温度	-10℃～50℃(バッテリ動作時0℃～50℃)	通報ランプ	発光ダイオード(緑色)
周囲湿度	80%RH以下(結露なきこと)	取付方式	壁面取付方式
適用回線	IP回線／モバイル回線(モバイル通信ユニット使用時)	寸法	270(W)×210(H)×55(D)mm(突起部含まず)
通信	ELSB(周辺機器との通信に使用　625Kbps)、LAN	質量	約1.4kg(内蔵電池含む)
接点入力	8点(無電圧入力　4.7KΩ抵抗バランス型 ループ抵抗:300Ω以下　開放電圧:約8.1V　短絡電流:約4.2mA)	タンパ検出機能	フロントカバーの開閉検知
		対応microSDカード	microSDHC/microSDXCカード (Class10、UHS-I対応)
センサ入力(多重)	1 ライン　最大供給電流0.5A (アドプレックスⅡ(32 チャンネル)、アドプレックスⅢ(32 チャンネル))	安全規格	電気用品安全法適合

(mm)



・ONVIF は、米国及びその他の国におけるONVIF, Inc.の登録商標です。
・本製品は下記URLに掲載されているHEVC特許の1つ以上の請求項の権利範囲に含まれています。
https://accessadvance.com/hevc-advance-patent-list/

⚠ 安全に関するご注意

製品を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ず「設置・運用マニュアル」をよくお読みください。

○外観及び仕様については、改良のため予告無く変更することがありますのでご了承ください。
○カタログと実際の製品の色については、印刷の関係で多少異なる場合もあります。

KING SECURITY キング通信工業株式会社
本　　社　〒158-0092 東京都世田谷区野毛2-6-6　☎03(3705)8111
横浜テクノセンター　〒225-0014 横浜市青葉区荏田西1-10-1　☎045(972)5381

お問い合わせ先
東京営業部　☎03(3705)8115　札幌営業所　☎011(807)9681
大 阪 支 店　☎06(6763)0081　仙台営業所　☎022(291)0881
福 岡 支 店　☎092(441)5781　名古屋営業所　☎052(934)0381

https://www.king-tsushin.co.jp

JQA-QM6580

第1版 2609(IS)

コントロールコミュニケータ
KFC-VS1
コミュニケータ

画像解析機能を搭載した次世代のコントロールコミュニケータ

3つの画像解析機能

独自のアルゴリズムによる3つの画像解析機能「侵入検知」「予兆検知」「人数検知」を搭載しています。

モバイル通信ユニットの内蔵

モバイル通信ユニットを本体に内蔵しているため、施工の手間やコスト削減が可能です。また、SIMカードを2枚搭載可能なため、安定した通報が可能です。

ネットワークカメラとの接続

ONVIF対応のネットワークカメラが接続可能になり、システム構築の選択肢が広がります。

年間スケジュール機能

「警備開始/解除」「電気錠施錠/解錠」「オペレーションターミナルの時間外操作開始/終了」「制御チャンネル出力」を年間スケジュールで制御します。

スマートフォンで映像確認・遠隔操作

リアルタイム映像視聴やSDカード(オプション品)に記録された録画映像確認、電気錠の操作や各種信号の受信が、スマートフォンから行えます。

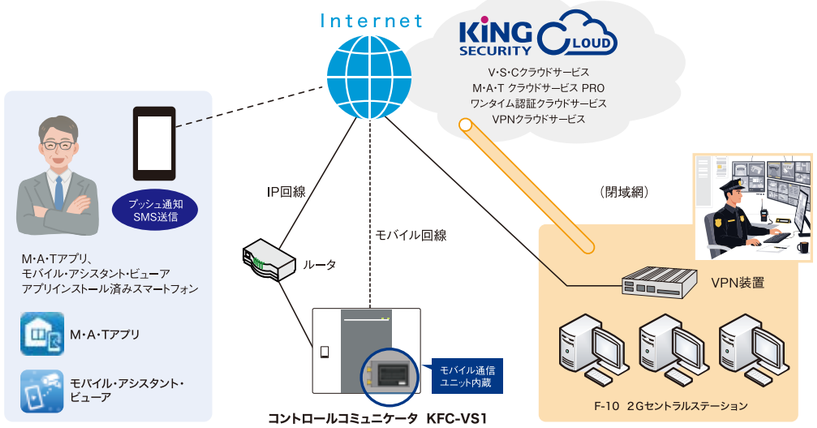
組み合わせ警報

2つのセンサを組み合わせて発報する「組み合わせ警報」により、発報検知の精度が向上し、より適切な現場対応が可能となります。

KINGSECURITY®

「V·S·Cクラウドサービス」「M·A·Tクラウドサービス PRO」「ワンタイム認証クラウドサービス」

V·S·Cクラウドサービス
M·A·T クラウドサービス PRO
ワンタイム認証クラウドサービス



V·S·C(Video Serveillance Connect)クラウドサービス

V·S·Cクラウドサービスは、KFC-VS1から送られる画像を管理·制御するためのクラウドサービスです。
F-10 2Gセントラルステーションによる高度な画像監視や、エンドユーザーのスマートフォン等での画像確認を実現します。
(※)V·S·Cクラウドサービスをご利用いただくには、VPNクラウドサービスをご契約していることが条件となります。

3つの高度な画像解析機能

KFC-VS1は、3つの高度な画像解析機能「侵入検知」「予兆検知」「人数検知」を搭載しています。

侵入検知

独自アルゴリズムにより、物体とその動きを侵入者としてとらえる画像解析機能です。これにより、出動指令の適切な判断を支援し、迅速かつ適切な現場対応を可能にします。

予兆検知

カメラ映像に映っている人や車両を認識し、それらが設定エリア内に立ち入ったことを検知します。検知時にスマートフォンへ通知することで、手元の端末で映像を確認することができます。例えば、私有地へ人が立ち入った際に、「来客」なのか「不審者」なのかをその場で判断でき、適切な初動対応を支援します。

人数検知

特定の人数以上/未満を検知しスマートフォンへ通知します。24時間ジムなど無人店舗の利用状況把握など、警備解除中のカメラ映像を有効活用できます。

通報に関する新機能「確認通知」

「確認通知」により「不要な信号による管制業務の負担軽減」と「ユーザーが知りたい情報提供」を実現

エンドユーザー自身で確認し判断できる「確認通知」をF-10 2Gセントラルステーションに追加。通知のON/OFFは事前に設定でき、日常的な確認用途の信号を送らない運用も可能なため、管制業務の負担軽減につながります。一方で、エンドユーザーは日中の在館時などにも、来客か不審者かを自ら映像で確認できるため、セルフセキュリティの強化はもちろん、店舗運営やサービス向上に役立つ情報を得ることができます。

新たなチャンネル設定「組み合わせ警報」

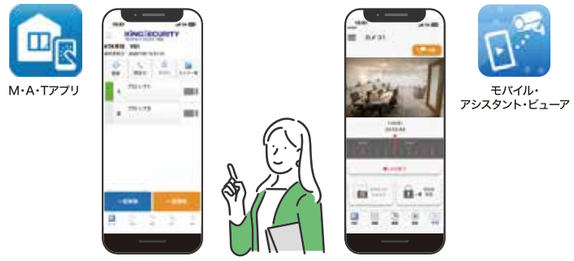
「組み合わせ警報」により「現場対応の効率化」を実現

KFC-VS1では、新たに「組み合わせ警報」機能を搭載。2つのセンサを組み合わせ、両方のセンサが検知した場合に「組み合わせ警報」として通報します。これにより、適切な現場対応が可能になります。

M·A·T クラウドサービス PRO

M·A·T クラウドサービス PRO をご契約いただくことで、次の機能をお使いいただけます。

1 M·A·T クラウドサービス PROは、KFC-VS1をご利用のエンドユーザーが、M·A·Tアプリを通じてスマートフォンなどからKFC-VS1の各種操作や信号の受信を行えるサービスです。さらに、スマートフォンで画像を閲覧する場合は、モバイル·アシスタント·ビューアを追加でダウンロードすることで利用可能となります。
(※)モバイル·アシスタント·ビューアのご利用には、別途V·S·Cクラウドサービスのご契約が必要です。

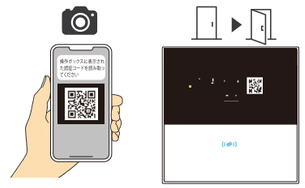


2 スマートフォンのモバイル交通系ICを利用し、オペレーションターミナルで警備の開始·解除や電気錠の操作が行えます。スマートフォンでアプリを起動するなどの特別な操作は不要のため、エンドユーザーの利便性が大幅に向上します。
(※)本機能は、オペレーションターミナルOT-P3N HFが必要です。

ワンタイム認証クラウドサービス

ワンタイム認証クラウドサービスをご契約いただくことで、エンドユーザーによる来訪者の事前受付が可能となり、登録された来訪者へ認証用メールを送信できます。来訪者は当日、メール内リンクからブラウザ操作により認証することで入室が可能です。物理カードが不要となるため、カードの受け渡しや現地対応の負担を軽減できます。

(※)本機能は、オペレーションターミナルOT-P3Nシリーズが必要です。

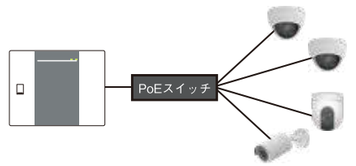


本体機能

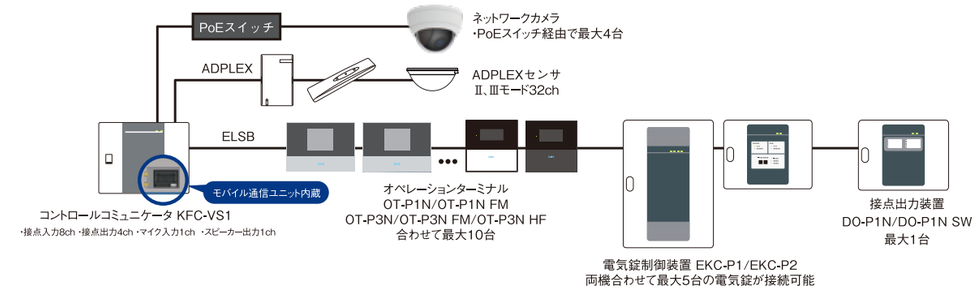
ネットワークカメラとの接続

KFC-VS1は、ONVIF対応ネットワークカメラの接続が可能です。既存のカメラや多様なラインナップから選択でき、機器コストの削減と柔軟なシステム構築に貢献します。

(※)すべてのONVIF対応ネットワークカメラとの接続·動作を保証するものではありません。
詳しくは弊社営業までお問い合わせください。



端末側システム構成



モバイル通信ユニットの内蔵

モバイル通信ユニットを本体に内蔵しているため、別途モバイルルーターや停電時バックアップ用の電源装置の設置工事が不要となり、施工の手間やコストを削減できます。また、最大2枚のSIMカードを挿入すると、主回線の通信·サービスに障害が起きた際に自動的に副回線へ切り替わり、安定した通報が可能です。副回線はF-10 2Gセントラルステーションと定期的に通信を行い、回線状態を確認します。

年間スケジュール機能を搭載

「警備開始/解除」「電気錠施錠/解錠」「オペレーションターミナルの時間外操作開始/終了」「制御チャンネル出力」を年間スケジュールで制御します。

センサ点検業務を効率化

F-10 2Gセントラルステーションでは、一定期間動作実績のない未動作チャンネルを一覧表示できます。労力のかかる点検業務の効率化や、機器不具合の早期発見につながり、警備監視の空白防止に役立ちます。KFC-VS1を導入することでご使用いただける、F-10 2Gセントラルステーションの新機能です。